

『医療政策を問いなおす』

—国民皆保険の将来—

島崎謙治 著 ちくま新書 2015 年

地域医療構想の策定や在宅医療・地域包括ケアの推進が進められ、2018 年度には次期医療計画や医療費適正化計画の策定、改正国民健康保険法の施行、診療報酬と介護報酬の同時改定が予定されている。このように矢継ぎ早に医療制度改革が進められている背景には、経済の低成長や人口構造の変容—「団塊の世代」がすべて 75 歳以上となる 2025 年問題が間近に控えている—があり、それに伴い国民皆保険は形骸化するリスクがあると著者はいう。

「将来に対する不安を煽るつもりはない。そうではなく、国民皆保険を堅持するために必要な改革を行うべきであるというのが筆者の基本的主張である。ただし、そのためには、日本の国民皆保険の特質や基本構造を押さえ、近未来の人口構造の変容の影響を正確に把握したうえで、医療政策を問いなおす必要がある。それを論じることが本書の目的である。」(序章より)

●主な目次

序章 問題の所在

第 1 章 日本の国民皆保険の構造と意義

第 2 章 歴史から得られる教訓と示唆

第 3 章 近未来の人口構造の変容

第 4 章 人口構造の変容が医療制度に及ぼす影響

第 5 章 医療政策の理念・課題・手法

第 6 章 医療提供体制をめぐる課題と展望

第 7 章 医療保険制度をめぐる政策選択

終章 結論と課題

『気をつけろ！ 猛毒生物大図鑑』

(全 3 巻)

今泉忠明 著 ミネルヴァ書房 2015 年

カラーイラストをつかい、毒をもつ生き物たちを科学的な視点で紹介するシリーズ。全 3 巻のタイトルは下記のとおり。

「1 山や森などにすむ猛毒生物のひみつ」

「2 海や川のなかの猛毒生物のふしぎ」

「3 家やまちにひそむ猛毒生物のなぞ」

第 1 章では、イラストのなかにかくれている擬態や保護色を利用した生物を見つけだす隠し絵を掲載(見返しにも猛毒生物の分布図や隠し絵のこたえを掲載)。

第 2 章で、毒がどのように使われるのかなど解説。

第 3 章では、猛毒生物の生態を図鑑のようにイラストで紹介。

児童書のジャンルに分けられるであろうが、子どもも大人も面白く読める本。

「猛毒生物は生きるために毒を使います。決してヒトを困らせるために毒を使うわけではありません。しかし、ヒトやほかの生物にとって『危ない』生物であることにちがいはありません。どのような猛毒生物がどのような場所にひそんでいて、どのような毒をもっているのかを知っておくことが大切です。本シリーズでは、毒をもつ生物の生態やすんでいる環境、毒のしくみ、また、もしもの場合に備えての毒への対処法についてもイラストとわかりやすい文章で解説しています。」(内容説明文より)